

様式第1号

事後評価シート

県土整備部

番号	事業名 箇所名	市町村名	事業概要	事業期間			事業費 (百万円)	対象 理由	事後評価の結果 2	総合評価	担当課	特記事項
				着手	1 再評価	完成						
	道路事業 中野原美々津線 中野原工区	日向市	L=2,700m W=6.0 (9.75)m	H17	-	H23	2,189		<p>【事業の目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で円滑な交通の確保 ・入郷地域と宮崎市街との地域間ネットワークの形成 ・日向市街地の交通混雑の緩和 <p>【事業効果の発現状況】</p> <p>線形不良や幅員狭小区間を改良したことで、<u>走行速度が改善され円滑な交通が確保された。</u></p> <p>時間短縮効果</p> <p>改良前 L=2.7km 走行速度20km/h 所要時間 約8分 改良後 L=2.7km 走行速度50km/h 所要時間 約3分</p> <p>参考: 国道327号～国道10号の時間短縮効果 改良前 L=12.0km 走行20km/h 所要時間 約36分 改良後 L=12.0km 走行速度50km/h 所要時間 約14分</p> <p><u>中野原美々津線の交通量が改良前(H22センサス)と比較して増加していることから、日向市街地の交通混雑の緩和が図られた。</u></p> <p>【交通量】</p> <p>中野原美々津線 H22センサス: 1,626台/日 H27(速報値): 2,125台/日(499台/日増)</p> <p>国道327号 H22センサス: 11,852台/日 H27(速報値): 10,624台/日(1,228台/日減)</p> <p>【事業による環境の変化や環境保全】</p> <p><u>切土及び盛土が発生することから法面緑化を実施し、現在は周辺の植生にもなじんでいる。</u></p> <p>【施設の維持管理状況】</p> <p>適正に維持管理されており、<u>道路管理上の問題は無い。</u></p> <p>【今後の事業評価の必要性】</p> <p>当該区間の整備により、円滑な交通の確保されるとともに歩行者の安全の確保が図られるなど、<u>所定の効果が発現しており、更なる事後評価の必要性はないものと考えられる。</u></p> <p>【改善措置の必要性】</p> <p>当該区間の整備により、円滑な交通の確保や歩行者の安全の確保が図られており、<u>今後の改善措置の必要はないものと考えられる。</u></p> <p>【同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性】</p> <p>特になし。</p>	事業効果が認められる	道路建設課	特になし

(対象理由) 全体事業費が基準額以上であり、かつ事業完了後一定期間が経過した事業再度、事後評価の必要があると判断した事業

- 1 再評価の実施年度については、直近のものを記載すること。
- 2 事後評価の際には、出来る限り客観的な数値を記載すること。